

後方視観察研究に関する情報公開

名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を行ないます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和元年 11 月

名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学講座
准教授 橋本 直純

【研究課題】

肺癌症例の臨床経過および予後に慢性呼吸器疾患が与える臨床的意義に関する研究

【研究期間】 令和元年 12 月～令和 6 年 3 月

【研究の意義・目的】

当院では、より良い水準で診療を行なうことを常に心がけています。しかしながら喫煙と関連するとされる慢性呼吸器疾患の併存がどのような診療の場面で影響を及ぼすかについて客観的評価が十分ではありませんでした。高齢化が進み、慢性呼吸器疾患と肺癌の患者数が増加しています。喫煙関連とされる慢性呼吸器疾患の併存は、肺癌症例の臨床経過およびその予後においても臨床的な意義をもたらす可能性が示唆されてきました。

そこで、「慢性呼吸器疾患が肺癌症例の臨床経過および予後に与える影響」を明らかにするために、当施設での肺癌患者を対象に臨床情報を集積・解析する後方視研究を計画いたしました。本研究を通じて、慢性呼吸器疾患に対する認識の重要性を明らかにすることを目指します。

本研究で新たに得られた知見をもとに、適切でより良いマネジメントを構築することができると考えています。

【研究の方法】

名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科および呼吸器外科を受診されて肺癌と診断を受けた症例を対象として、臨床情報(臨床経過、画像データ、検査データ、病理データなど)を収集します。

【研究組織】

・研究責任者

名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 准教授 橋本 直純

・研究分担者

名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 講師 若原 恵子

名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 病院助教 阪本 考司

名古屋大学大学院医学系研究科放射線医学 准教授 岩野 信吾
名古屋大学医学部附属病院呼吸器外科 病院准教授 川口 晃司
名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 病院助教 岡地 祥太郎
名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 大学院 中原 義夫
名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 大学院 鈴木 淳
名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 大学院 井上 正英

【人体から採取された試料等の利用について】

今回は、すでに診療の過程で得られた臨床情報を収集して解析をします。

【研究者が保有する個人情報について】

本研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して、研究対象者個人の尊厳と人権の尊重、個人情報の保護等倫理的観点から十分に配慮しながら研究を遂行します。本情報をご覧になり、研究協力を望まない場合はお申し出ください。御意向に沿った形で対応を行ないます。

【研究内容に関する問い合わせ先】

〒 466-8550

愛知県名古屋市昭和区鶴舞 65

名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 准教授 橋本 直純

電話でのお問い合わせ：052-741-2111（代表）内線 2167

メールでのお問い合わせ：

<http://www.med-nagoya-respmed.jp/doctor/inquiry/>

にて入力・送信お願いいたします。

【苦情の受付先】

名古屋大学医学部経営企画課 臨床審査公正係：(052-744-2479)